

世界ニホンザルの日

Celebrate World Japanese Macaque Day on December 3!

1948年12月3日、宮崎県の幸島で、京都大学の今西錦司らが初めてニホンザルの調査をおこないました。
これにちなみ、12月3日を「世界ニホンザルの日」とします！



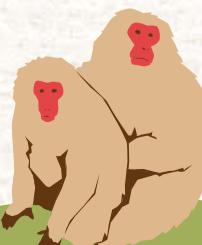
撮影:高野 智 場所:日本モンキーセンター

1948年12月3日、宮崎県の幸島で、京都大学の今西錦司らが初めてニホンザルの調査をおこないました。これにちなみ、12月3日を「世界ニホンザルの日」とします。ニホンザルは、ヒトを除く霊長類の中でもっとも北に生息し、霊長類の多様性を象徴する動物です。生態や社会から医学まで、霊長類学に多くの知見をもたらしてきました。絶滅が心配される地域もあれば、ヒトとの軋轢が生じている地域もあり、ヒトと野生動物の共存について考えさせてくれる存在もあります。「世界ニホンザルの日」を、このようなニホンザルの魅力を知り、関心を高め、保全や飼育下の福祉向上について考える日にしましょう。

今年のポスター写真は、日本モンキーセンター内モンキーバレイの「たき火にあたるサル」です。1956年に創立された日本モンキーセンターは、同年屋久島で収集したヤクシマザル79頭をもとに、1957年犬山野猿公苑を開苑しました。1959年の伊勢湾台風による倒木や廃材などで職員がたき火をしたところサルが集まりはじめ、モンキーバレイに移ったあとも、火を怖がらずたき火にあたる行動は8世代にわたり受け継がれています。



関連イベントなどは
Webサイトをご覧ください
<https://bit.ly/WJMD>
関連イベント、ポスター掲載レポート募集中！



世界ニホンザルの日 2025実施事務局
日本モンキーセンター JAPAN MONKEY CENTRE
愛知県犬山市犬山官林26
TEL 0568-61-2327